

【イベント名】

日本医療情報学会 春季学術大会

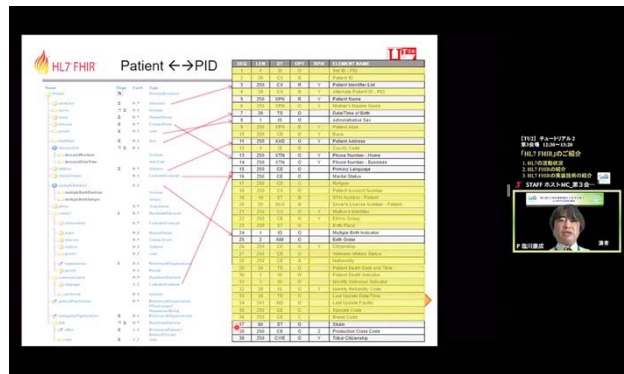
【期日】 2020.06.05

【会場】

アキバプラザ, 鹿児島大学, 倉敷中央病院, 京都大学, 群馬大学, 富山大学, 東京大学, 九州大学病院, 岐阜大学, 福井大学, 広島大学, 国立国際医療研究センター, 長崎大学, 弘前大学, 大阪大学医学部附属病院(吹田キャンパス) (すべて日本)

【概要】

Covid-19禍のためにオンサイトでの集会が出来ず、完全Web開催となった。2日間、3会場で、38セッションが開催された。Zoomウェビナーを利用したリアルタイム口演に、Confit webを用いたポスターセッションを併せて実施した。例年1,000人程度の参加の学術大会であるが、Web参加の利点から2,300人超の登録・参加があり、視聴者が1,000人を越えたセッションも多数あった。参加者の68%が回答したアンケートでは、現地開催よりオンラインのほうが質疑応答や議論がしやすい、今後もオンライン開催や現地開催とオンラインの併設を希望する意見が多数であった。

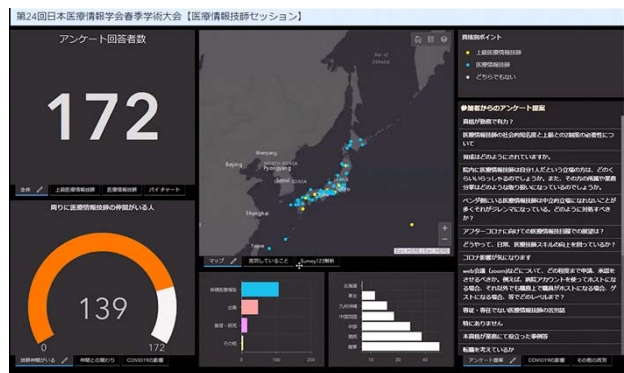
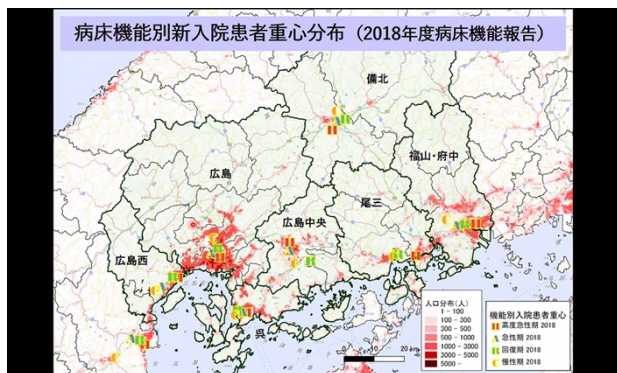


グループディスカッションの様子。

撮影場所：アキバプラザ

発表するMr.塩川。

撮影場所：アキバプラザ



提示されたスライド。

撮影場所：アキバプラザ

提示されたスライド。

撮影場所：アキバプラザ



アキバプラザでの集合写真。

撮影場所：アキバプラザ



九州大学病院での集合写真。

撮影場所：九州大学病院